

二十九回蒼天句会 今月の一句

令和七年三月十三日 兼題…囀、又は自由

雪柳抜け道狭くなりにつけり

公子

囀りの舞台は大樹空蒼し

婦紗子

春一番ゆれる手のひら第二ボタン

賢一

囀りや森のチャペルの道すから

繁一

デイスプレイに浮ぶ指紋や養花天

孝志

囀や離郷の列車待つホーム

洋一

宙よりの小さなギフト囀れり

信江

囀りを探る窓辺や朝まだき

静江

歳問えば指三本や春日和

鎮夫

河口湖の桜隣りに遠見富士

隆彦

囀りや聴きをるつまと共白髪

隆男

春愁ひ一本指でひくピアノ

重子

鶯の鳴き声真似て杣の道

紹子

観梅の丘ゆるやかに香り来る

久恵